



高橋 八重典 議員
やとみ志政会

問 小規模校統廃合の進捗は

答 令和10年4月に再編校開校予定

○4小学校統廃合に伴う小学校再編整備方針（案）について以下を問う。

問 統廃合時期と再編校設置予定場所は。

答 〔教育部長〕 令和10年4月。十四山西部小学校の位置。

問 該当地区市民に対する説明会の参加者数は。

答 235人。

問 4小学校区人口及び世帯数は。

答 1万690人、4320世帯。（令和5年9月1日現在）

問 説明会参加者は、4小学校区人口の何パーセントか。

答 約2・2%。

問 この参加人数で良いとする認識は甘すぎるのでは。

答 〔教育長〕 教育環境を考え、計画を進めていく。

問 執行者として市長の認識は。

答 〔市長〕 教育長と同様。

問 4校の先生への聞き取りをなせないか。

答 〔教育部長〕 各校長が取

りまとめ、集約して整備方針（案）に反映。

問 4校教職員間連携の前に教育委員会との連携が最優先では。

答 〔教育長〕 教職員の意見を、最大限尊重して検討した。

問 住民の日常生活の犠牲から得ている南部地区の税収は。

答 〔総務部長〕 伊勢湾岸自動車道付近の物流施設等が完成したため、固定資産税は増額した。

問 この税収からすれば、再編校新設の意味は非常に高いのでは。

答 〔市長〕 整備方針（案）で、魅力的な再編校になるよう、まとめている。



▲十四山西部小学校



▲十四山東部小学校



▲栄南小学校



▲大藤小学校

問 地域の再構築も加味した統廃合を

答 子ども達のことを優先に考える

問 コミュニティや跡地利用は市の所管であり、整備計画等も同時に説明する責任があるのでは。

答 〔総務部長〕 方針が固まり、説明できるようにになれば報告する。

問 淡路市への市長視察で本市に参考になったことは。

答 〔市長〕 閉校するに当たり、先を見据えた中で地域活性化に結びつけていく取組を、民間活力によって行っている。

問 小規模校統廃合の総括を。

答 子ども達のことを優先に考え、進めていくことが重要。

問 人口増加策の一つとして、再編校予定地周辺の市街化も理由づけに必要では。

答 〔建設部長〕 市街化調整区域に定められており、編入は難しい。